



◇ メディア・リテラシーの学習 (3年生)

『ヒューリアみえ』(公益財団法人反差別・人権研究所みえ)の安田賢行先生を講師にお招きし、3年生を対象にメディア・リテラシーの授業をしていただきました。

「人権」とは、誰もが安心して暮らせたり幸せになったりすることができる権利であり、子ども・大人を問わず、すべての人たちが持っている貴重な権利だということを学びました。しかし昨今、SNSの普及によって、使い方によっては人を傷つけたり傷つけられたりするケースが増えています。子どもたちは今もこれからも、SNSを通じて様々な情報と出会います。その情報を鵜呑みにせず、立ち止まって考え正しく取捨選択することや情報の発信者として人を傷つけないように気を付けることなどが大切です。また、インターネットやゲーム・Youtube等が便利で楽しいけれど、怖いことや悲しいことが起こったり友だちとのトラブルの原因になったりすることもあるため、保護者の方とルールを決めて使う必要があることも学びました。



安田先生のわかりやすいプレゼンによって、子どもたちは興味をもってしっかりと学べていました。

◇ 第2回コミュニティスクール運営協議会

6/7(火)、第2回コミュニティスクール運営協議会(CS)が開かれました。学校内を視察していただいた後、CSの方々に支援をいただいている活動「さつまいもの畑づくり(2年生)・出張本屋さん(3年生)・読み聞かせ会(1・2年生)」の報告と、意見交流を行いました。

教員の授業研究や校内の環境づくりの取組について肯定的な評価をいただいた反面、廊下に物が並べられている現状や子ども姿勢等、今後の課題についてもご指摘をいただきました。7月には米作り(5年生)や学校保健委員会(6年生)も開かれます。

いただいたご意見を参考に、今後の取組を進めてまいります。



◇ ねっちゅうしょうよぼう とうげこうじ ちゃくよう 熱中症予防 ~登下校時のマスクの着用について~

蒸し暑い日が連日続き、熱中症が心配される時季となっています。この夏は全国的に気温が高くなるという予測も出ていますので、今後ますます「熱中症予防」に注意を払う必要があります。

教育委員会の「夏季における児童生徒のマスクの着用について」という通知により、市内小中学校においては「気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては、熱中症対策を優先し、マスクを外すこと等を指導する。」ことにしていますが、市内小学校の現状を確認すると、本校同様、登下校時には、多くの児童がマスクを外せない状況にあることがわかってきました。四日市市教育委員会から、改めて次のように通知が届きました。

- ◇ 基本的な感染対策として、引き続き「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を徹底すること。
- ◇ 熱中症は命に関わる重大な問題であることを認識すること。
- ◇ 体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時は特に熱中症リスクが高いことから、マスクを外すよう指導すること。その際、教職員についてはマスクを外すことを率先するとともに、体育の授業等において教職員と児童生徒、児童生徒間の適切な距離を取って指導し、屋内の体育館等の場合には常時換気などの徹底を行うこと。

体育の授業では、指導者がマスクを外し、児童に運動時にはマスクを外すよう指導することでマスクを外せる児童が増えてきました。しかし、登下校中は、通勤等で出会う大人も、マスクを着用している人がほとんどです。したがって、マスクを外しにくい状況もあると考えられることから、改めて各学級で以下のように指導しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

- ◇ 熱中症予防のため、登下校時にはマスクを外しても構いません。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症への不安がある人は、マスクを着用しても構いませんが、熱中症予防のため、一時的にマスクを外したり水分補給したりしましょう。
- ◇ 登下校中に水分補給をする場合は、安全な場所で立ち止まって飲みましょう。安全のため、歩きながら飲まないようにしましょう。
- ◇ マスクを外す場合は、会話を控えるようにしましょう。
- ◇ 登校中に外していたマスクは、朝、校舎に入る前に必ずつけましょう。

また、学校では6月からWBGT値(暑さ指数)を測定し、ピロティに掲示しています。下校時など熱中症のリスクが高い時には注意を呼び掛けていきます。

ご家庭でも、熱中症予防対策にご協力をお願いいたします。

